

0. はじめに

respon (レスポん) をご利用いただき、ありがとうございます。
respon は、アンケートをリアルタイムに共有できるシステムです。また、出席管理の機能も提供します。

リアルタイムアンケート

学生はPC / 携帯電話(フィーチャーフォン・スマートフォン)のブラウザ、あるいは **専用アプリ“respon”** **[*1]** を用いて教員があらかじめ作成した「カード」を提出します。カードは3種類(出席、クリッカー、アンケート)から選択できます。これらの集計結果は、respon の教員画面や専用アプリで、リアルタイムに確認ができます。

[*1] ... iOS 8.0以降 / Android 5.0以降 に対応しています。

出席管理機能

発行したカードに連動して、出席表が生成されます。出欠席の状態やその理由を記入できます。
また、カードの提出時間に応じて、「〇時〇分までに提出した人は出席」と一括して登録することができます。

専用のアプリで、「教室にライブを！」

専用アプリをご利用いただくことで、より多くの機能をご提供します。

- ・ 通信状態が悪い環境や状況での利用
- ・ 位置情報サービスを用いた、厳密な出席確認
- ・ アンケートの集計結果を 学生にライブ中継・リプレイ配信... etc.

respon が、教員と学生のコミュニケーションを高め、教室が新しい学びの場へと発展することを願っています。

第12回日本e-Learning大賞
アクティブラーニング部門賞



respon の最新情報は、こちらをご覧ください

<https://respon.jp>

7c

本マニュアルは、**respon system 7c** が対象です。respon system 7c の主な追加機能は、以下のものです。

1) LIVE機能の強化

「提出状況画面」の名称が「LIVE画面」(＝受付中)、「REPLAY画面」(＝受付終了)に変わり、機能強化やUIの改善を行いました。

2) アンケートを、コースを跨いで「再利用」可能に

「再利用」とは、すでに作成済みのアンケートをコピーする機能です。この機能がコースを跨いで利用できるようになりました。

3) Excel 出力機能の更新

XLSX 形式の 出力が可能となりました。また、受付中に回答のダウンロードもできるようになりました。

4) コースメンバーExcel シート

respon の「カード一覧画面」にコースメンバーの Excel シートを追加しました。このシートには、responアプリの設定状況も表示されます。

5) 新機能・新動画のリリース告知

respon system の機能や、responチャンネルの事例動画・チュートリアル動画が新規に追加された場合、respon の「カード一覧画面」で通知を表示します。

← 本マニュアルでは、respon system 6c から変わった箇所には、左端にオレンジの帯を付けています。

アプリの使い方は、アプリ内の「設定」→「使い方」をご参照ください

1. 用語

respon システムに登場する用語をご紹介します。

カード ... 主に授業時間内での利用を目的とした質問フォームです。学生はアプリか携帯電話・PCのブラウザで、教員が作成した「カード」に回答を記入して提出します。カードは3種類あります。

出席のみ : 学生の名前の確認だけを行います

クリッカー : 口頭やスライドで質問するための、簡易なフォーム(数字選択10択+自由記入欄ひとつ)

アンケート : 教員が問題文・選択肢をあらかじめ作成しておくアンケート(最大10問)

受付番号 ... カードに付与される **9桁の** 数字です。教員は、教室で 受付番号を学生に 口頭・板書などで伝え、学生はこれを入力することでカードにアクセスします。

出席表 ... カードに紐づいて生成される名簿です。画面から 出席情報を記入し、Excel で出力できます。コース内の出席表をまとめた「総合出席表」をダウンロードすることもできます。

LIVE / REPLAY画面 ... 教員が、PCで提出状況を確認する画面です。manaba にログインして見ます。受付中のときはLIVE画面、受付終了後はREPLAY画面と呼びます。

再利用 ... 発行済の「アンケート」のフォームの複製を作ります。**担当コースが複数ある場合、他のコースに複製を作成できます。**複製先として選択できるのは「現在のコース」もしくは「これからのコース」になります。なお、元のカードの「実施予定日時」が未来の場合、複製先にも同じ日時が入ります。

プレイヤー ... 学生がアプリの中で、集計結果や回答を閲覧する画面です。アプリで回答した後に見ることができます。カードごとに教員がプレイヤーを公開するかしないかを選択できます。こちらで 受付中はLIVE、受付終了後はREPLAYという表示が出ます。



プレイヤー

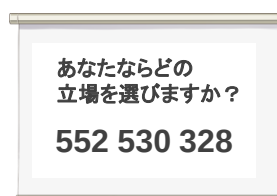
2. 基本的な利用の流れ

授業前

教員は、授業前にあらかじめ respon管理画面 でカードを発行し、受付番号を控えておきます。

授業中

授業中、任意のタイミングで、教員は9桁の受付番号を口頭・板書・スライド等で伝えます。学生はアプリか 携帯電話・PCのブラウザで受付番号を入力し、回答を提出します。



授業後

教員は、カードの受付を終了します。提出状態に応じて出席管理を行う場合は、画面からそのカードの出席表を開き、出席情報を記入します。

HINT



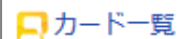
授業前の respon の準備から、授業での利用の一連の様子を撮影した動画を respon チャンネルで公開しています。ご覧ください。

関西福祉科学大学様: respon の準備から授業までをウェアラブルカメラで撮影しました
<https://youtu.be/BYFPgqkRktw>



3. カードの発行

それでは、実際にカードを発行してみましょう。担当コースのページを開き、[カード一覧] をクリックします。



3-1 カード一覧画面

そのコースで発行しているカードの一覧画面です。タブで「受付中」と、「受付終了」を切り替えることができます。

3-2 カードの発行

右上の [カード発行] をクリックすると、パネルが表示されます。A～D の選択と記入をして、[発行] をクリックしてください。

カードタイプ (A)

3つのタイプから選んでください。

ラベル (B)

このカードを、後から識別しやすくするために付ける名前です。
(例: 「第3回講義 出席確認」「第3回実習 感想と気づき」)

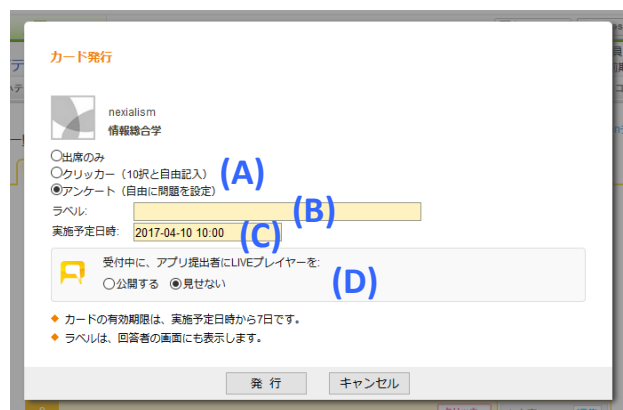
※ラベルは、アプリなど、学生が見る画面にも表示します。

実施予定日時 (C)

カードを使う予定の日時を入力します。入力した日時に利用しなくても、問題ありません。

アプリのLIVEプレイヤー公開選択 (D)

クリッカーとアンケートのオプションです。「公開」を選択すると、アプリで提出したユーザが、受付終了までの間、アプリの中でプレイヤーを見ることができるようになります。

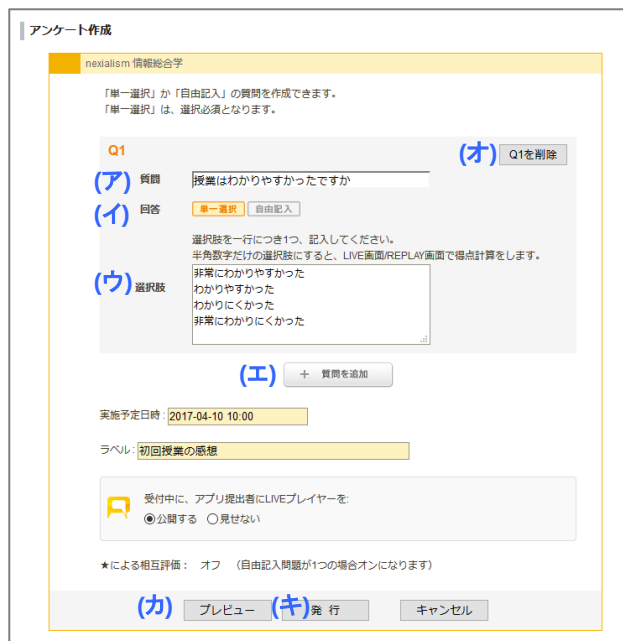


3-3 問題文の作成(カードタイプ:「アンケート」選択時)

1. アンケート作成画面で質問 (ア) を入力してください。
2. 回答形式 (イ) を以下の2つから選択してください。

・[単一選択] ... 単一選択形式
・[自由記入] ... 自由記入形式

3. [単一選択] では、選択肢 (ウ) を入力します。一行につき、一つの選択肢を記入してください。
4. 質問を追加する場合、[+質問を追加] (エ) をクリックします。質問は10問まで追加できます。質問を削除したいときは、[削除] (オ) をクリックします。
5. [プレビュー] (カ) をクリックすると、どのように見えるか確認できます。
6. [発行] (キ) をクリックすると、発行完了です。カードに紐付いた受付番号が発行されます。
7. 発行したカードの[提出] (ク) をクリックして、提出してみましょう。(教員IDの場合はお試し提出となります)




受付番号

実施予定日時

受付番号を拡大表示します。

respon system 7c
から、受付中にも
ダウンロードができる
ようになりました。

4. responの実施

4-1 受付番号の案内と、提出方法

授業では、口頭や板書・スライド等で、受付番号を学生に伝えてください。学生は、アプリかブラウザを利用して提出します。

ブラウザを利用した提出

携帯電話、PCのブラウザを利用して提出をします。受付番号入力後、ID・パスワードを入力すると、カードが表示されます。

ブラウザからの提出は、**manabaにアクセスして右上の[respon]をクリック**

アプリを利用した提出(推奨)

iOS / Android 用の respon アプリで提出します。最初に設定を済ませておけば、以降は受付番号を入力するだけでカードが表示されます。

アプリには、ご利用中の manaba の URL と ID、パスワードを登録してください

4-2 提出状況の LIVE表示

教員は、提出状況をライブで確認できます。カード一覧画面で、そのカードの[LIVE画面](A)をクリックします。



LIVE画面をプロジェクターに映すことで、回答の共有ができます。アプリでも、提出状況を確認できます。

回答	割合
1 非常にわかりやすかった	27 (60.0%)
2 わかりやすかった	16 (35.6%)
3 わかりにくかった	1 (2.2%)
4 非常にわかりにくかった	1 (2.2%)

HINT



教員はLIVE画面を常に見ることができます。一方、アプリのプレイヤーは、教員がカード発行時に設定した場合にのみ(学生が)見ることができます。アンケートの作り方によって、LIVE画面でできることが変わってきます。相互評価機能(★をつける機能)は、アプリのプレイヤーを公開する等の設定が必要です。詳しくは、次ページのLIVE画面/REPLAY画面の説明をご覧ください。

4-3 カードの受付終了

授業中、あるいは授業後に、カードの受付を終了します。PCで受付終了をする場合は、そのカードの[受付終了](B)をクリックします。受付終了をすると、そのカードは「受付終了」のカード一覧画面に移動します。



受付終了をしなくても、カード発行後、**実施予定日時から7日経過すると自動的に受付終了となります。ご注意ください。**また、受付終了時に、提出者が0人でかつ出席表が未編集だった場合は、自動的に削除されます。

4-4 responアプリの設定状況

「カード一覧」画面にある「コースメンバー(Excel)」をクリックすると、履修生の情報がXLSX形式でダウンロードできます。この中には「アプリ登録」というカラムがあり、アプリの設定をしたことがある(※)履修生は「Y」と表示されます。

相互評価の★機能など、アプリを使わないとできない機能もありますので、こちらの情報を参考にしてください。

※ ... アプリをアンインストールしたか否かは、わかりません。



5. LIVE画面 / REPLAY画面の使い方

respon system 7 では、LIVE画面 / REPLAY画面 の機能を強化しました。

5-1 アンケートのLIVE画面 / REPLAY画面

<円グラフ／棒グラフ切り替え>

単一選択問題の結果は、グラフで表示します。円グラフか棒グラフかをボタン(A)で切替えることができます。デフォルトは円グラフです。画面一番上の受付番号の右にある切替ボタン(B)をクリックするとすべてのグラフを一斉に切替えることができます。

<自由記述の回答と、個人回答ビュー>

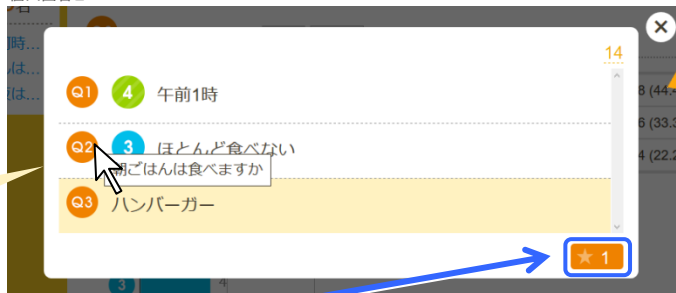
自由記入問題の回答は一覧となって表示されますが、任意の回答をクリックすると、別ウィンドウが開きます。そして、その回答者のすべての回答が一覧できます。

この画面を「個人回答ビュー」と呼びます。

「個人回答ビュー」では、「Q1」などの設問番号にカーソルを重ねると、設問も表示します。



個人回答ビュー



設問番号にカーソルを重ねると問題文を表示。

自由記入の回答をクリックすると、その回答をした人が、各設問で何を回答したか一覧で出てきます。

<相互評価の★表示機能>

responでは、自由記入問題が1問だけの場合に限り(単一選択問題はいくつあっても可)

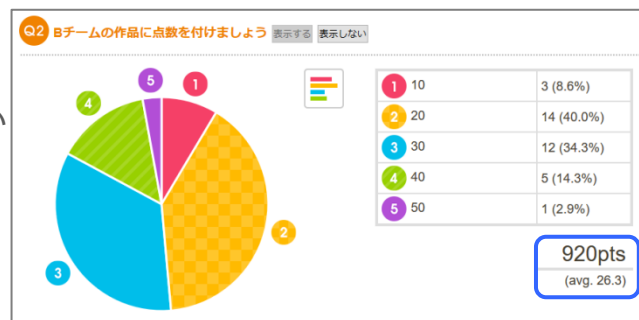
相互評価機能(★を付ける機能)がオンとなります。このとき、LIVE画面/REPLAY画面の自由記入問題の回答、あるいは個人回答ビューで★の数が表示されます。★はアプリから回答した人が、アプリのプレイヤーから付けることができます。(カード発行時に、「アプリ提出者にLIVEプレイヤーを公開する」を選択する必要があります。→ 3-2 (D))

<スコア表示機能>

単一選択問題の選択肢を「半角数字のみ」とした場合

凡例の下にスコア表示が出ます。

スコアは、(選択肢の数字 × 人数) の合計と平均点を表示しています。なお、スコアは、アプリのプレイヤーでは表示しません。



<絞り込み機能>

Q1が単一選択問題、Q2が自由記入問題 の全2問のアンケートの場合に限り

グラフの各領域をクリックすると、選択肢ごとに自由記入の回答を絞り込んで表示できます。

この条件を満たしている時は、画面にも説明が表示されます。



5-2 クリッカーのLIVE画面 / REPLAY画面

クリッカーのLIVE画面 / REPLAY画面は、respon system 7 では「アンケート」とほぼ同じデザインとなりました。

<N/A のカウントについて>

クリッカーは、数字選択だけを回答することも、自由記入だけを回答することも、両方使って回答することもできます。

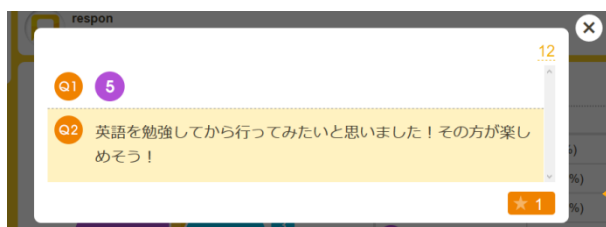
LIVE画面 / REPLAY画面では、クリッカーで数字を選択しなかった人を[N/A] とカウントし、[N/A]はグラフの中には含めません。

<円グラフ／棒グラフ>

数字選択の結果は、グラフで表示します。円グラフか棒グラフかをボタンで切替えることができます。なお、投票が0件の数字はグラフには表示されません。

<個人回答ビュー>

自由記入の任意の回答をクリックすると、別ウインドウが開きます。



<相互評価の★表示機能>

responでは、自由記入問題が1問だけの場合に限り

相互評価機能(★を付ける機能)がオンとなります。つまり、クリッカーの場合は、常にオンとなります。このとき、LIVE画面 / REPLAY画面の自由記入問題の回答、あるいは個人回答ビューで★の数が表示されます。★はアプリから回答した人が、アプリから付けることができます。

(カード発行時に、アプリ提出者にLIVEプレイヤーを公開する を選択する必要があります。→ 3-2 (D))

<スコア表示機能>

凡例の下に「sum ON」のボタンをクリックするとスコア表示が出ます。

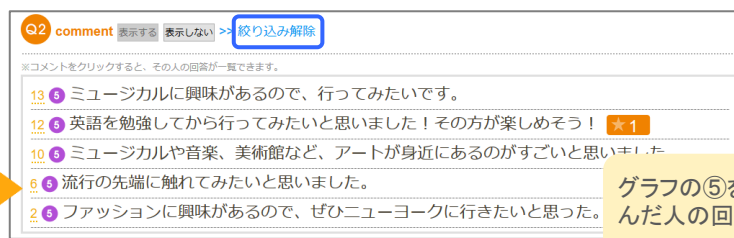
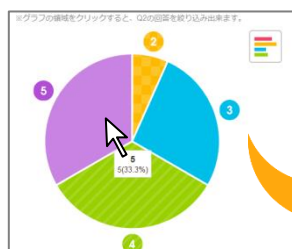
スコアは、(選択肢の数字 × 人数) の合計と平均点を表示しています。N/Aの人数は平均の母数に含めていません。なお、アプリのプレイヤーにはスコアの表示はありません。



<絞り込み機能>

グラフの各領域をクリックすると、選択肢ごとに自由記入の回答を絞り込んで表示できます。

もう一度同じ領域をクリックするか、「絞り込み解除」をクリックすると、元の表示に戻ります。



グラフの⑤をクリックすると、⑤を選んだ人の回答だけを表示します。

6. 出席表の編集

カードを発行すると、出席表の画面が用意されます。
この画面は、紙の出席簿と同じ感覚で入力いただくものです。

教室で

6-1 カードの受付中に、出席表を編集する

授業でカードを回収しても、携帯電話を忘れたり、何らかの理由で早退する学生がいるかもしれません。そのような時は、授業の最後に教室で出席表を編集することをおすすめします。

受付中のカード一覧画面で、該当のカードの **出席表** の **[編集]** をクリックします。

履修生の名簿が表示されますので、個々の学生の出欠の種類を選択してください。「理由」も記載できます。**名簿は、この画面を表示した時点の情報をもとにしています。**



出席情報を編集したら、名簿の一番下にある [保存] をクリックしてください。
カードを提出した学生は、受付終了後に一括して「出席」に変更できるので、受付中に個別に「出」とする必要はありません。

授業後

6-2 カードの受付終了後に、出席表を編集する

カードの受付を終了した後は、提出状況を一括して出席表に反映することができます。「受付終了」のカード一覧から、カードを選び、**出席表** の **[編集]** をクリックしてください。

6-2-1 携帯忘れ・早遅などの申告や、点呼で確認した学生の出席情報を入力します。理由も記入しましょう。(A)

6-2-2 続いて、カードの提出時間を元に、一括判定をします。カードを提出した学生は、提出日時が記載されていますが、まだ学生の出欠情報はなし(=「無」)になっています。

日時(B)を指定します。**[判定](C)**をクリックすると、ここに指定した日時までに提出している学生を一括で出席(=出)とします。

指定欄にあらかじめ入っている日時は、受付終了したときの時間ですが、任意の時間に変更できます。



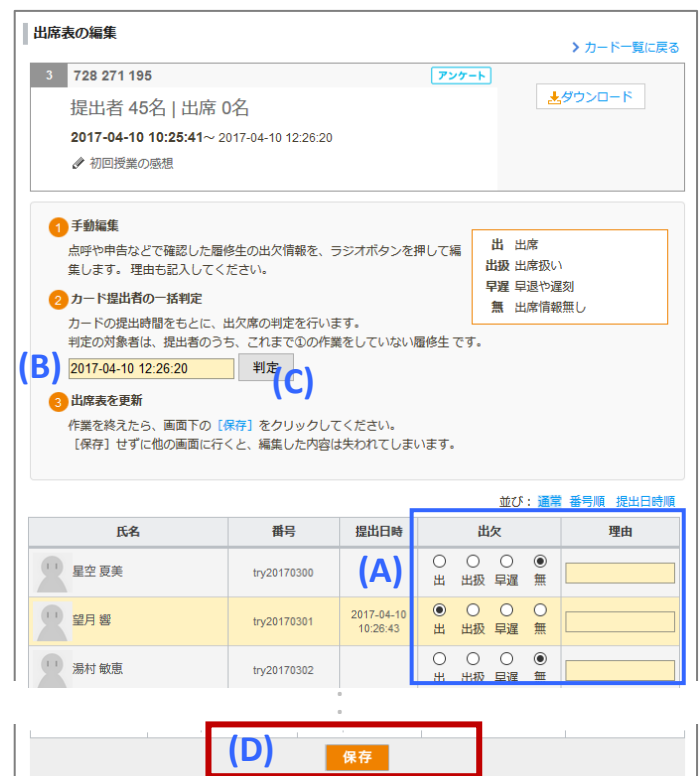
一括判定の前に、出席情報・理由を変更している学生は、判定の対象から除外されます。
(例: カードを提出したが、教員が「早遅」とした学生は、一括判定を行っても「早遅」のままです)

編集が終了したら、必ず名簿の下にある [保存] (D) をクリックしてください。

出席表は、Excel形式でダウンロードできます。



喜多 浩子	try20170305	出	出	出	無	
小野田 美知子	try20170306	出	出	出	無	
志村 和歌子	try20170307	出	出	出	無	電車遅延
井村 義明	try20170308	出	出	出	無	携帯電話忘れ
吉原 範彰	try20170309	出	出	出	無	



出席表の編集

3 728 271 195 アンケート

提出者 45名 | 出席 0名

2017-04-10 10:25:41 ~ 2017-04-10 12:26:20

初回授業の感想

1 手動編集
点呼や申告などで確認した履修生の出欠情報を、ラジオボタンを押して編集します。理由も記入してください。

2 カード提出者の一括判定
カードの提出時間をもとに、出欠の判定を行います。判定の対象者は、提出者のうち、これまで①の作業をしていない履修生です。

3 出席表を更新
作業を終えたら、画面下の **[保存]** をクリックしてください。
[保存] せずに他の画面に行くと、編集した内容は失われてしまいます。

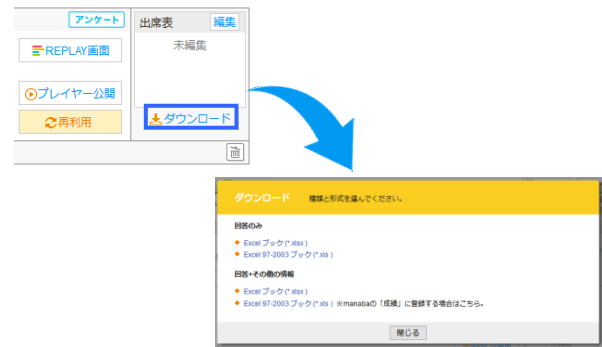
並び: 適量 番号順 提出日時順

氏名	番号	提出日時	出欠	理由
星空 夏美	try20170300	(A)	出 出 出 無	
望月 響	try20170301	2017-04-10 10:26:43	出 出 出 無	
湯村 敬恵	try20170302		出 出 出 無	

(D) 保存

7. ダウンロードと、情報の見方

各カードの [ダウンロード] をクリックするとパネルが開きます。種類とファイル形式を選択してダウンロードをします。クリッカーとアンケートの場合、「回答のみ」か、「回答+その他の情報」のいずれかをダウンロードできます。アンケートのファイルには、問題文を記載したシートが含まれます。



7-1 「回答+その他の情報」の Excelシート

以下の説明は、本マニュアル[6.出席表の編集]の作業を行ったあと(保存ボタンを押したあと)にダウンロードしたExcelシートの説明になります。「出席のみ」のカードのExcelシートを開く際もこちらをご参照ください。

	A	B	C	D	F	G	H	I	J
1	#name	grade	exam						
2	#course	10979	情報総合学	nexialism					
3	#ident	10998							
4	#session	728271185	2017-04-10	1:初回授業の感想					
5	#saved								
6	#average	10	←平均点						
7	#								
8	#								
9	#								
10	#								
11	#grade								
12	#gradedata								
13	#title	userid	numid	name	grade	comment			
14	#role	# ユーザID	# 学籍番号	# 氏名	# 合計点	# 講評	# 提出日時	# 出欠の判定	# 出席の点数
15	履修生	man01	try20170300	星空 夏美	10		2017-04-10 10:37:25	出席	10
16	履修生	man02	try20170301	望月 響	10		2017-04-10 10:26:10	出席	10
17	履修生	manu01	try20170302	湯村 敏恵	10		2017-04-10 10:26:22	出席	10
18	履修生	manu02	try20170303	黒崎 義彦	10		2017-04-10 10:28:04	出席	10
19	履修生	manu03	try20170304	久保 隆司	10			出席扱い	10

	A	B	C	D	F	G	H	I	J
10	# 理由		# 提出情報	# 提出受付日時	# 集合判定	# 最終編集日時			
10					A	2017-04-10 19:21:01			
10					A	2017-04-10 19:21:01			
10					A	2017-04-10 19:21:01			
10					X	2017-04-10 19:21:01			
10	携帯電話忘れ					2017-04-10 19:21:01			

(1)... 受付番号、実施予定日時、ラベルです。

(2)... 受付終了日時です。

(3)... 「出席表の編集画面」の②で入力した出欠の判定日時です。

(4)... 出席の配点です。エクセル上で変更可能です。

(5)... 出席と、得点計(後述)の合計点です。

(6)... 「出席表の編集画面」で入力・判定した結果です。

(7)... (6)の結果に応じて、(4)の点数が入っています。

(8)... 「出席表の編集画面」で入力した理由です。

(9)... 受付終了後に提出していた場合、ここに「受付終了後提出(NG)」と記載されます。

(10)... ここに日時の記載がある学生は、アプリで提出したとき、通信状況が悪く「仮提出」となり、後から送信をした人です。

(11)... 位置情報をもとに、クラスター分析をした結果です。

A ... 同じ場所にいた可能性が高い

B ... 同じ場所にいた可能性がやや高い

F ... 同じ場所にいなかった可能性が高い

X ... ・位置情報が送信されなかった

・位置情報が古い、あるいは精度が悪く分析に使えなかった

空欄 ... アプリ以外の手段で提出をした

※端末性能や、端末の使用方法が理由で、教室にいてもFやXの判定となる可能性はゼロではありませんので、判定結果は本人に伝えず、参考情報としてご利用ください。

(12)... 「出席表の編集画面」で情報を最後に編集した日時です。

7-2 クリッカー・アンケートのシートに記載される情報

カードがクリッカーと、アンケートの場合は、ユーザが記入した回答が Excel シートに出力されます。それらの回答に、正解を設定することで、得点計算ができるように計算式も入っています。

			(14 -1)		(14 -2)				
			正解(1.1) 配点(1.1)		正解(1.2) 配点(1.2)		(15)	(16)	(17)
判定	# 最終編集日時	# 得点計	# 回答1.1	# 得点1.1	# 回答1.2	# 得点1.2	# スター (DL時)	# ボーナス	# 表示/非表示
	2017-04-10 19:21:01	20	1	20	とても良く理解できた。				
	2017-04-10 19:21:01	0	2	0	情報の分類に興味を持てた。		8		
	2017-04-10 19:21:01	20	1	20	統計情報が身近に感じた				
	2017-04-10 19:21:01	10	3	0	ビデオがとても面白かった		2	10	
	2017-04-10 19:21:01								

(13)... 各得点とボーナスの合計点です。#得点計の下の数字は、このカードの受付番号です。

(14) ...[#回答]の列には、各ユーザが選択、記入した回答が入っています。

この回答に対して、採点を行いたい場合は、[正解]のセルに、正解を記入し、その点数を[配点]のセルに記入します。すると、[正解]と同じ回答が記入されている場合に、点数が挿入されます。
(図では、“1”を正解として、配点を20点と記入しました。“1”と回答しているユーザの得点に 20 が挿入されます)

(14 -1), (14 -2) ...問題の数だけこのセットが並びます。

(15)...ダウンロードした時点での、スターの数 です。スターは、プレイヤーを公開した際に、アプリでユーザ同士で付けることができます。(※自由記入問題が1つの場合のみ)

(16)... 教員の裁量で、個別に点数を記入するための列です。スターを多く獲得した回答に対して、得点を与えるときは、ここに記入してください。

(17)... アプリのプレイヤーで、教員は、表示するコメントを選択できます。プレイヤーでコメントが非表示になっているユーザは、この列に「非表示」と記載されます。

(15) ~ (17) の列は、プレイヤーの状態に関わらず常に表示されます。

7-3 履修情報がない学生

履修情報がない学生は、オレンジ色の行で表示されます。
※履修生か否かの情報は、Excel シートをダウンロードした時点の情報をもとにしています。

履修生	r20170300	try20170300	星空 夏美
履修生	r20170301	try20170301	望月 響
履修なし	r20150528	try20170300	朝比奈 徹

7-4 総合出席表に記載される情報

総合出席表は、ダウンロード時にチェックマークをつけたカードの出席結果のみが出力されます。なお、出席表の編集と保存が完了していないと、チェックできませんのでご注意ください。この表には、選択したカードの入力・判定結果がすべて記載されています。非履修生は含まれません。

	A	B	C	D	F	G	H	I	J	K
1	#name	grade								
2	#course	15 総合出席表	nexialism							
3	#session	総合出席表								
4	#saved									
5	#average	38.53 ←平均点								
6	#						全4件	判定	点数	
7	#							出席	10	
8	#							出席扱い	10	
9	#							早退遅刻	5	
10	#title	userid	numid	name	grade	comment				
11	role	# ユーザID	# 学籍番号	# 氏名	# 合計点	# 講評	#1 728271195 [アンケート] 2017-04-10	# 1の出席点 初回授業の感想	#2 789513404 [アンケート] 2017-04-17	#2の出席点 A1の活用は脅威?
12	履修生	r20170300	try20170300	星空 夏美	40		出席	10	出席	10
13	履修生	r20170301	try20170301	望月 響	40		出席	10	出席	10
14	履修生	r20170302	try20170302	湯村 敏恵	40		出席	10	出席扱い	10
15	履修生	r20170304	try20170303	黒崎 義彦	30		出席	10	出席	10

8. アプリでできる事と、注意点

respon はブラウザからも回答できますが、学生が、アプリを利用して回答することで、より利便性が高まります。

8-1 通信状況が悪い状況での回答フォーム

ブラウザでは、通信状況が悪い環境では、回答フォームを一切表示することができませんが、responアプリを利用すると、

「出席のみ」と「クリッカー」は非通信状態でも回答フォームを表示します。
(その場合、コース名や曜日は「曜日・時間」となる場合があります: 右図)

「アンケート」は、学生が事前にアプリを起動していれば、通信状況が悪い環境でも 高い確率で回答フォームを表示することができます。

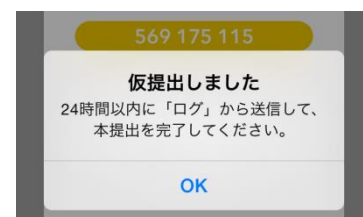


8-2 仮提出

アプリで提出ボタンを押したときに、通信状況が悪いと、「仮提出しました」と表示される場合があります。時間と場所は記録していますので、後で電波状況が
良い場所で必ず提出するよう指導をしてください。

仮提出のカードを送信するには、アプリの「ログ」から送信ボタンをタップします。
なお、教員がカードの受付を終了しても、responシステムは、24時間、仮提出の回答の受信を続けます。

→ 本マニュアル[7-1] - (10) も併せてご覧ください。



8-3 位置情報サービスと、集合判定

アプリで提出すると、スマートフォンで取得した位置情報を送信し、その情報をもとに、「同じ場所にいたか」の判定を行います。端末の位置情報サービスをオンにしないと、情報は取得できません。

集合判定を行う場合は、学生に位置情報サービスの設定をすませ、提出時に位置情報サービスをオンにするよう周知をしてください。なお、具体的な座標(緯度・経度)は誰にも伝えない仕組みですので、不安に思う学生にはお伝えください。

→ 本マニュアル [7-1] - (11) も併せてご覧ください。

HINT



位置情報サービスの設定は、アプリの「設定」→「使い方」→「サーバの設定をしたとき(学生)」→「1.端末の設定」をご覧ください。位置情報サービスをオフ、あるいは未設定のユーザは、Excelシートで集合判定が「X」と表示されます。ブラウザから提出したユーザは、集合判定が空欄になります。

8-4 集合判定の精度

集合判定は、提出者数が多いほど正確になります。また、位置情報サービスの性能が機種ごとに個体差があるため、場合によっては教室から提出したのにも関わらず F判定(同じ場所にいなかった可能性が高い)になる可能性はゼロではありません。1回の結果だけでなく、複数回の結果を見て、F判定が続く学生に対しては点呼をするなどの指導をしてください。

8-5 よく使われる質問形式と、教室外からの提出の抑止方法

集合判定を逐一確認するよりも、respon の質問を授業中に複数回実施することが、不正のけん制につながります。respon を活用されている先生の多くは、1問もしくは2問のアンケートを、授業中に3~7回実施しています。すべての質問について、教室の外で回答をすることは非常に困難です。

respon チャンネルで事例動画を見る



マニュアルのリンクの隣には、YouTube の responチャンネルへのリンクがあります。respon を活用されている先生の授業の様子や、先生・職員の方のインタビュー動画を公開、随時追加しています。活用のヒントをご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。

